

第 3 回グッジョブ・テーブル水戸(地域円卓会議)開催要綱

- 趣 旨 水戸市双葉台では、大学教員と学生、行政、小中学校、学習塾、NPO、事業者が、3月と8月に学習支援に関する地域円卓会議で議論を重ね、実際に8月に団体のショッピング・センターの空きスペースを活用した学習支援が10日間実践されました。また、「子どもの貧困対策法」や「生活困窮者自立支援法」で、生活困窮世帯の子ども対象の学習支援が公的な事業として位置づけられ、県内各地で無料塾に関する動きが増えてきています。こうした取り組みが、本当に学習支援を必要とする子どもたちに届くようにし、各地で貧困の連鎖を防ぐことにつながるような学習支援が行われるようにするには、プライバシーへの配慮をはじめ、教えるスタッフや場の確保など、学習支援を進める上で課題になりそうなことについて関係者が知恵を出し合うことが重要です。そのために、3回目の地域円卓会議は、各組織の連携を深めるため学習支援に関わる幅広い方々に議論に加わっていただき開催することにしました。
- テーマ 貧困の連鎖を防ぐための学習支援の体制づくり
- 日 時 平成 26 年 11 月 17 日 (月) 13:30~16:30
- 会 場 水戸市双葉台ショッピングセンターホール (公園の脇にある以前公民館だった建物)
(隣接する双葉台市民センターまたは郵便局前の駐車場はご利用いただけません)
- 内 容
- ・ 基調報告 (学習支援をめぐる県内外の行政の動向について)
 - ・ 茨城の各団体の学習支援の事例報告と課題提起
 - ・ 自治体の学習支援に関する今後の取り組み方や課題点についての情報共有
 - ・ 学習支援を広げる上での課題についての協議者による討議
(支援対象の設定と広報の仕方、公平性に留意しつつ個別のニーズにどうこたえるか、プライバシーに配慮した運営をしつつ、地域住民に支援の必要性をどう広めていくか、教えるスタッフ・教材・場所・移動手段的確保、民間団体と行政、事業者の役割分担など)
- 対 象 下記の協議者のほか、本テーマに関心がある団体、個人に参加を呼びかける (定員 50 名)
協議者依頼先 (敬称略)
県内で生活困窮世帯の子どもを対象にした学習支援を実施 (活動予定含む) している団体
生活困窮者支援に関する NPO
地域の小中学校
弁護士会
茨城県社会福祉協議会
県ならびに水戸市の、福祉、こども、教育に関する担当課
双葉台ショッピングセンター
- 主 催 認定 NPO 法人 茨城 NPO センター・コモンズ